



『さあ、めがねをかけよう！』

ヘレナ・ハラシュトヴァ/作 アナ・コーベン/絵
越智 典子/訳
偕成社

ジョーは遠くのものがぼやけてしまう近視、キティは近くのものがぼやけてしまう遠視。2人ともめがねをかけているけど、使っているめがねのしくみは違います。でも、めがねをかけると、はっきりと見えるようになるのは同じ！

めがねをかけている人もそうでない人も、楽しく前向きな気持ちで目とめがねについて学べる本です。



『ベランダでわたをつくったよ』

そだててつむぐ綿花』
あおき あさみ/さく
福音館書店



お隣のおばあちゃんから綿花のたねをもらったモモとタイガ。わたから糸が、その糸から布が作られると知り、一生懸命に世話をして成長を見守ります。やがて実は大きくなり、白いわたがはじけました！2人はおばあちゃんに教わり、今度は糸をつむいでみることにします。

手をかけて「育てる」楽しさと、ていねいに時間をかけて「作る」喜びが伝わってきます。



『ルービクの発明物語 ふしぎな魔法パズル』

ケリー・アラディア/文 カラ・クレイマー/絵
竹内 薫/訳
西村書店

六面体のパズル、ルービクキューブ。大人も子どもも夢中にさせるそのパズルは、ハンガリーのエルノー・ルービクによって約50年前に生み出されました。エルノーの新しいパズル作成への挑戦の背景には、いつも美へのあこがれがありました。

試行錯誤しながらも情熱を失わず、ついにはキューブ完成に至るまでを、鮮やかな色彩で描いた絵本です。

図書館おすすめブックリスト

2025年11月発行

編集・発行 砺波市立図書館



ハート

ココロふるえる本との出会いで ♥ フル充電!!

No.31 小学1～3年生向け



『ペンギンのトビオ』

齊藤 倫/作
偕成社

南極に住むペンギンの子トビオは、怖がりで、小さな村から出たことはありません。けれどある日、文通相手の北極のシロクマ・ポーラに会うために、勇気を出して、広い世界へと飛び立つことを決意します。

飛行機に乗ったり、知らない人と会話したり、いろいろな経験をして学んでいくトビオの姿から、旅に出ることの素晴らしさや成長の喜びを感じることができます。



『どろぼうジャンボリ』

阿部 結/作
ほるぷ出版

ジャンボリは、書き損じの手紙や渡されなかった手紙にある、「はだかんぼうのきもち」を読みたくて、ごみ箱に捨てられた手紙をこっそり盗んでいました。あるとき、誰からも手紙をもらえない町長は、手紙を書いたり送ったりすることを禁止する命令を出し…。

手紙をやりとりするときの、相手を思う優しい気持ちを感じることができます。



『ゆうやけトンボジェット』

吉野 万理子/作
くもん出版

ジェット機を見るのが好きな赤とんぼのジェット。仲間と長い旅に出るかわりに、テントウムシと一緒にお客を乗せて飛ぶ「トンボジェット」を始めることにしました。でも、なかなかお客が集まりません。あるとき、草花から「タネを遠くまで運んで」とお願いされて…。

大空を舞台にした、虫たちの友情と冒険に胸が熱くなる物語です。

『山の学校キツネのとしよいいん』

葦原 かも // さく
講談社



かえでさんは、山の学校の図書館司書。ある日キツネがやってきて、本のバーコードを「ピッピッ」と読取る仕事をやってみたいと頼んできました。その音が、仲良しの小鳥の声に似ているというのです。「ピッピッ」が上手になったキツネは、校長先生から「図書委員」として認められ…。

優しさあふれる文に、温かな絵がそえられたおはなしです。

『ゴロゴロヤマネコ不動産』

なんだかあやしいおすすめ物件』
藤重 ヒカル/作
福音館書店



かさ職人の「ぼく」のところに、ヤマネコ不動産の猫山さんから物件の案内状が届きました。奇妙な条件があるものの、家賃の安さに「ぼく」はお店を借りることにしますが、やってくるお客さんは猫ばかりで…。

ヤマネコ不動産が紹介する商店街の物件には、いつも不思議な秘密があります。すてきな出会いがあるこの商店街に、あなたもきつと行ってみたくなるはず！



『たんぽぽはひとがすき』

埴 沙萌/写真 嶋田 泰子/文
ポプラ社

たんぽぽは、コンクリートの割れ目やアスファルトの隙間など、他の雑草が咲かない過酷な場所に元気に咲く花です。なぜこんな所に咲くのでしょうか？実はたんぽぽには弱点があり、その弱点を補うために3つの作戦を使っているのです。それは一体どんな作戦なのでしょう？

たんぽぽの一生を、文章と写真で分かりやすく教えてください。



『おなじところちがうところ』

新井 洋行/作 嶽 まいこ/絵
くもん出版

わたしととしきは、サッカークラブで一緒だけれど委員会は違います。

2人のように、国籍、好きな色、障害の有無、得意なこと、苦手なことなど、探してみると人と同じところ、違うところはいろいろあります。同じところを見つけて仲良くなってもいいし、違うところを認めあって仲良くするのも素敵ですね。多様な社会を生きる私たちに、人との関係性を教えてくれる本です。